

愛媛県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

- 愛媛県の公立高校入試には、特色選抜と一般選抜があります。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
特色	1/13(火)～20(火)	－	1/30(金)	2/6(金)～9(月)
一般	2/9(月)～16(月)	2/17(火)～25(水)	3/5(木)・6(金)	3/18(水)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。

ただし、一般選抜においては、同一校内の農業・工業・商業・水産に関する各学科に属する小学科では第2志望まで出願が可能です。また、理数科・国際文理科・国際科を志望する場合に、同一校の普通科を第2志望として出願することが出来ます。

- 普通科の通学区は、原則として東予地区・中予地区・南予地区の3学区に分かれています。

特色選抜

- 特色選抜は、全日制の全ての学科で実施します。

出願資格は、各学校、学科ごとに教育目標、学科の特色、地域性を考慮し、定められています。また、学科ごとに「入学時に求める生徒像」が発表されていますので、事前に確認しておきましょう。

- 募集人員は下記の範囲内で各学校により決定されます。

- ・普通科、理数科、国際文理科、国際科および普通科とのくくり募集をする学科
…募集定員の30%程度を上限
- ・職業教育を主とする学科、総合学科…募集定員の50%程度を上限
- ・体育科、芸術科…募集定員の100%を上限

※全国募集を実施する学科が県外特色入学者募集を実施する場合があります。

体育科・芸術科は上記の募集定員内に含み、その他の学科は上記の募集定員とは別枠として募集します。

- 選抜資料

検査	作文・小論文・面接・集団討論・実技テスト・プレゼンテーションから各高校が学科ごとに選択して実施する。
提出書類	調査書、自己アピール書等

- 上記の資料を用いて、学科の特色を踏まえて総合的に判断し、合格者を決定します。

- 特色選抜で合格とならなかった場合、一般選抜に出願することができます。

一般選抜①

●全日制の全ての学科で実施します。

募集人員は、募集定員からその学科の特色選抜での入学確約者数を差し引いた数になります。

なお、くくり募集をする学科では、その募集の単位を1学科とみなします。

出願した学校・課程・学科を1回に限り変更することが出来ます。

●選抜資料

学力検査	国語(作文を含む)・数学・英語・理科・社会 (国45分+作文25分, 数・理・社各50分, 英60分, 各50点) ・特定の学科で傾斜配点を行うことがある。 理数科…数学と理科の得点を1.5倍にし, 5科合計300点満点 総合学科…5科の中で得点の高い2科を1.5倍にし, 5科合計300点満点
実技	2026年度実施…今治工業(繊維デザイン科), 松山南砥部分校(デザイン科)
面接	志願者全員に面接を実施する
報告書	調査書「各教科の学習の記録」の9科の評定: 1～3年の評定=135点満点 学習成績等一覧表

●上記の資料を用い, その学校・学科の特色を踏まえて, 教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜を行います。

一般選抜②

●選抜方法

次の第1選抜, 第2選抜の順に選抜します。

○第1選抜

- ・入学志願者の調査書点の高い順に, 募集人員の90%程度以内の人数を選定
- ・その中で, 調査書の記録や面接・実技テストの結果が良好な者を対象に, 学力検査の成績の上位順に募集人員の70%程度の合格者を選抜。

※この時, 農業・工業・商業・水産に関する各学科や, 理数科・国際文理科・国際科においては, その学科を第1志望とする者を対象とします。

○第2選抜

- ・第1選抜で選抜されなかった全ての入学志願者を対象に,
「学力検査の成績に基づく得点(A)」
「調査書点に基づく得点(B)」
「調査書の各教科の学習の記録以外の記録, 面接・実技テストの評価に基づく得点(C)」
以上の, A・B・Cを用いて, 募集人員の30%程度の合格者を選抜。
- ・A+B+Cの合計は500点満点とする。
また, A・B・Cの満点の比率は各学校により決定されるが, A=3～6, B及びC=2～4の範囲とし, A+B+Cは10となるように定める。

※この時, 農業・工業・商業・水産に関する各学科や, 理数科・国際文理科・国際科を置く普通科においては, その学科を第2志望とする者も対象とします。

